

こ ん に ち は 、 小 川 あ き ら で す。

きらきら通信

春号
2018.5月



議会報告
豆知識
ぐんまの家計簿
平成30年4月～
私たちの生活はこう変わります
GACHi ×高校生
手話通訳の必要性を学ぶ
特別委員会の県内調査
常任委員会の県内調査



ツバメ村 2018年春

若葉の緑がすかすかしく感じられる今日この頃、皆さまお元気にお過ごしでしょうか。駅前のケヤキ並木の豊かな緑もキラキラ光る広瀬川の流れも本当にきれいで、「水と緑と詩のまち」を体現する季節がやってきましたね。敷島公園のバラ園も見ごろを迎えていきます。前橋は「バラのある街」としても知られています。群馬県のバラの生産量は全国7位、県内では前橋がトップです。市内のマジホール蓋にはバラのモチーフが用いられ、市制100周年を記念して作られたガス灯にもバラがデザインされています。まちを歩きながら、探してみてくださいね!

さて、おかげさまで、2期目の当選を果たしてから3年が経過いたしました。この間、地域の課題を解決するために、教育や児童虐待の問題、子育てや女性特有の病気に対する支援について、障がい者差別解消法の推進、介護や医療スタッフの確保について、買い物弱者支援やコンベンション施設建設の問題、養蚕や農林業の振興など、様々な課題に取り組んできました。2期目の最終年も、多くの人と手をつなぎ合って、この地域に住む私たち一人ひとりが、誇りを持って輝いて、そして安心して暮らしていくように、引き続き全力で取り組んでまいります!

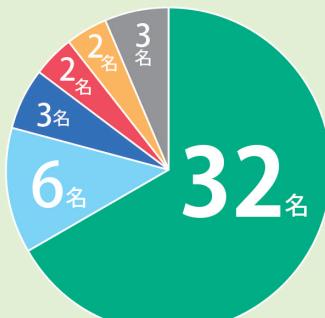
議会報告

群馬県議会平成30年第2回定例会は
5月25日に開会し、
6月18日までの日程で開催予定です。

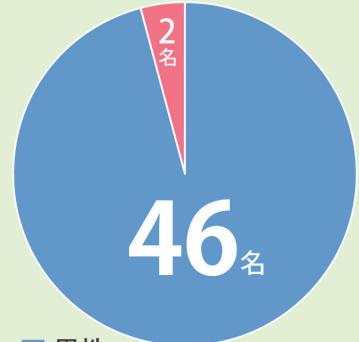
私は6月5日(火)に
一般質問に登壇する予定です。
みなさん是非、傍聴に来てくださいね!



県議会の構成



県議会の豆知識



定数50名(現状48名欠員2名)



国際女性デー群馬県集会

前橋赤十字病院新病院落成記念式典

高崎渋川バイパス開通記念式典

前橋渋川シティマラソン

GACHI ×高校生

群馬県議会では若者の政治への関心を高める取組みとして、平成27年度から主に大学生を対象として議会に招いて意見交換する事業を行ってきましたが、より議会の発信力を高めるために、議員が高校等へ出向き意見交換する事業を新たに実施しました。(GACHIは、群馬県議会 アクティブ・シチズンシップ・ハイスクールの略です。)初年度は、8高校701名の高校生が参加。私も2月1日に市立太田高校へお邪魔しました。学生や学校側からの評価も高く、平成30年度はより多くの高校生と意見交換をしていきたいと思います。

【主な質問】

- 自由民主党とリベラル群馬の違いは
- 人口減少に対してどんな対策をしているか
- 分煙、禁煙に対してどのような対策をしているか
- なぜ県議会議員になろうと思ったのか



【アンケートの主な感想】

- 政治について考える機会はあまりないが、今回身近に考えることができた。議員になる人によって、町や県、国が変わるという言葉がとても印象に残った。
- 「自分なんかの1票では何も変わらない」と思っていたが、積極的に参加しないと日本の未来は変えられないと思った。今度は私たちが輝く明日をつくっていく番!

【参加高校】

- 県立富岡高校 ●県立前橋清陵高校 ●県立前橋東高校
- 市立太田高校
- 県立伊勢崎特別支援学校
- 県立玉村高校
- 県立前橋高校
- 組合立利根商業高校



手話通訳の必要性を学ぶ

2018. 2. 18

群馬大学主催の「学術手話通訳に対応した通訳者の養成事業シンポジウム」に参加しました。

行政各部(内閣府、厚労省、文科省、群馬県)からの障害者施策の取組み、手話通訳者の養成の現状と課題に対する説明に続き、聴覚障害を持ちながら手話通訳や文字通訳をつけて博士号を取得した経験を持つ中野聰子さん(大阪大学キャンパスライフ健康支援センター講師)の基調講演では、学術手話通訳の難しさや聴覚障害学生支援をめぐる諸課題について学ばせていただきました。

聴覚障害学生にとって手話通訳は、双方向性のある情報保障手段として「活きた講義」に参加するために必要なもの。ノートテイクやPCテイクで我慢させるのではなく、まずは手話通訳という選択肢を用意して、その内容も専門性に対応できるものにしていかないといけません。

その後のパネルディスカッションでは、全国手話通訳問題研究会の石川さん、群馬県聴覚障害者コミュニケーションプラザの堀米さん、現在大阪大学大学院にて学術手話を利用して学んでいる後藤さんから事例を交えた貴重なお話を聞かせていただきました。視覚障害・盲ろう・失語症・ALS等意

思疎通支援のニーズが増えている一方で、手話通訳は高齢化・非正規雇用化が進み「絶滅危惧種」のようになっているそうです。医療や法廷や学問の現場で活躍する専門手話通訳者の養成と正規雇用の道をつくっていくことが必要ですね。群馬大学で実施している学術手話通訳者の養成事業が、その一歩となるように県でもしっかりと後押ししていきます!

手話で挨拶してみよう!
～群馬県パンフレット「みんなで手話」より

はじめまして

右手の五指を揃えて体の前、ベルトの辺りから上へ上げながら人差し指をのこして他の四指は折ります。

両手人差し指を左右から真ん中で合わせます。

おはよう

右手でこぶしを作り、こめかみのあたりにあててから、下ろします。

軽くおじぎをしながら、向かい合わせた人差し指を折り曲げます。

平成30年度の群馬県予算 ぐんまの家計簿

7329億8000万=733万円にたとえてみました! (10億円=1万円)

①収入の部

収入(県税)	248万円
ボーナス (地方消費税、地方譲与税、 地方交付税)	235万7000円
親からの仕送り (国庫支出金)	80万2000円
借入れ (県債)	104万3000円
貯金の取り崩し (財政調整基金繰入)	11万9000円
へそくりの取り崩し (コンベンション基金繰入)	1万5000円
その他	51万3000円
合計	733万円

②支出の部

生活費(人件費)	221万1000円
医療・介護・教育費 (扶助費、補助費)	236万6000円
ローンの返済 (公債費)	105万3000円
家の修繕、防災対策 (公共事業)	111万1000円
その他 (貸付・貯金など)	58万9000円
合計	733万円
ローン残高 (県債残高)	1242万6000円
貯金(財政調整基金)	1万円

財政調整基金とは?

県議会の豆知識



財政調整基金は、地方公共団体の健全な財政運営を確保するために設置した積立金で、経済事情の変動等による減収、災害により生じる予期せぬ支出・減収を埋めるときや、緊急性の高い大規模な建設事業の経費等に充てるための自治体の貯金です。群馬県では、ここ数年、当初予算の編成にあたり財政調整基金をほぼ全額取り崩してきましたが、平成30年度の予算では、災害発生時等の緊急の財政出動に備えるために10億円を確保しました。財政健全化に向けた第一歩として、評価しています。

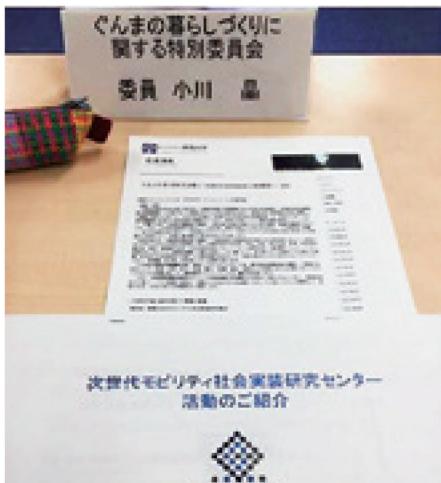
平成30年4月～私たちの生活はこう変わります

	項目	今まで	こう変わります
子育て	子どもの居場所の充実	—	子どもが大人や仲間と係わりながら自分らしく過ごせる「子どもの居場所」づくりを地域で進めるための人材養成とネットワークづくりを開始 子ども食堂や無料学習塾の立ち上げ支援(15か所)
福祉	生活困窮者世帯やひとり親家庭の 子どもへの学習支援の充実	11か所 (生活困窮者世帯向け)	13か所 (ひとり親家庭向け2か所) 拡充
	介護福祉士奨学金の充実 (介護人材確保)	●貸与月額3.6万円 ●入学・就学準備金20万円 (生活費加算対象者のみ) ●保証人(未成年は2人)	●貸与月額5万円 ●入学・就学準備金20万円(要件撤廃) ●保証人1人 法人による保証も可
教育	特別養護老人ホームの整備	12093床	12408床(県88床、市町村227床)
	県立高校の空調整備	2、3年生の普通教室に設置	1年生の普通教室に設置(全学年に設置完了)
	特別支援学校高等部の未設置地域の解消	—	沼田、藤岡、富岡、吾妻地域に高等部を整備(県内全域で職業自立教育ができる環境を整備)
	スクールソーシャルワーカーの拡充	6名(2名×3教育事務所)	12名(巡回型6名配置) 拡充
	県内公立中学校への部活動指導員の配置	—	運動部活動指導員を中学校39校に配置
交通	路線バス検索サービスの充実	—	スマートフォン向けの乗り換え検索アプリ、地図アプリによる県内全てのバス情報の案内開始

特別委員会の県内調査

2018.2.8

ぐんまの暮らしづくりに関する特別委員会の現地調査で、群馬大学の次世代モビリティ社会実装研究センターの取組みについて伺いました。



こちらでは、文科省の「地域科学技術実証拠点整備事業」の採択を受け、完全自立型自動運転に関する技術の開発・実証を行っています。

少子高齢化によるバス、タクシーの運転手不足と高齢者の交通手段の確保の両面から期待されている自動運転技術。

実用化には5年～10年はかかるとのことで、研究費の確保や車両の開発に協力してくれるメーカーとの連携など、課題はたくさんありますが、実用化できれば群馬県だけでなく全国に大きなインパクトを与える技術です。

現在は、前橋駅～中央前橋駅の実用

化に向けて公道実証実験を行っている最中で、今年の11月には自動運転バスがお目見えする予定です。



常任委員会の県内調査

2018.4.26

今日は月一常任委員会。午前中は吾妻森林組合岡崎木材加工センターを調査しました。

吾妻森林組合は平成17年に吾妻東部・長野原・嬬恋・六合の森林組合が広域合併したもので、現在は中之条町、東吾妻町、高山村、長野原町、嬬恋村、六合村地域の森林整備を行っています。合併当初の木材生産実績は2000m³ほどでしたが、その後の経営改善の取組みや技術力向上の取組みにより、昨年は15000m³に。そして平成29年度森林・林



業再生基盤づくり交付金を活用して整備した木質バイオマス燃料製造事業では、チップを一月に約1000t生産し、前橋バイオマス発電に納めているとのこと。原材料の高騰や輸送手段の確保とコストなど、課題もまだまだありますが、林業県ぐんま、少しづつ動きが出てきています。

午後はJA全農ぐんま園芸作物生産実証農場を調査。

こちらでは、炭酸ガス発生装置、細霧装置、深層地中加温装置など環境制御装置を用いて、きゅうりやなすの実証栽培に取り組んでいます。きゅうりについては、10aあたりの生産目標を30tに設定。昨年は目標を超える39tの出荷実績があるそうです。JA関係者や農家さ

んの視察も多く、温度管理やミスト装置に関心が寄せられているとのこと。なすの栽培ではピーク時期をずらした出荷方法やミツバチの受粉を必要としない単為結果性の品種の実証が行われています。日本一の野菜産地づくりを目指して、行政とJAと農家さんの連携が必要です。



Mサポふれあい祭り



赤城神社奉納武道大会



前橋商工会議所女性会創立60周年記念大会



図書広報委員会

活動報告

主な地元活動・参加行事
(掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。)

- 2月19日 第1回定例会開会、前橋JC 2月第一例会
2月21日 前橋育英高校サッカー部県民栄誉賞顕彰式
2月23日 代表質問
2月24日 Mサポふれあい祭り
2月25日 全国高校サッカー選手権大会全国制覇祝勝会
2月26日 一般質問、日朝友好親善の集い
2月28日 一般質問
3月 1日 一般質問、リベラル群馬議員団会議
3月 2日 図書広報委員会
3月 3日 弁天ワッセ
3月 4日 桑苗植樹プロジェクト
3月 5日 議会基本条例推進委員会、環境農林常任委員会
3月 6日 ぐんまの暮らしづくりに関する特別委員会
3月 7日 前橋商工会議所創立120周年記念式典
3月 8日 本会議、環境森林税勉強会、リベラル群馬議員団会議、国際女性デー群馬県集会
3月 9日 前橋JC 経営者交流会
3月12日 環境農林常任委員会
3月13日 環境農林常任委員会
3月14日 図書広報委員会
3月15日 ぐんまの暮らしづくりに関する特別委員会
3月19日 リベラル群馬議員団会議
3月20日 本会議、第83回国民体育大会・第28回全国障がい者スポーツ大会群馬県準備委員会設立総会
3月21日 つなごうネット研修会
3月23日 新田小学校卒業式
3月24日 前箱田町長寿会総会、ぐんまプログラミングアワード2018
3月25日 下新田宇宙少年団
3月27日 江田町長寿会総会、前橋JC3月第一例会
3月29日 上川淵地区座談会、恵風会理事会

- 3月31日 アンサンブル25コンサート
4月 7日 前箱田町世代間交流会
4月 8日 美登利会チャリティー公演、雷電神社春季例大祭
4月11日 川上村視察
4月12日 東地区自治会連合会歓送迎会
4月15日 お茶とお香の会
4月18日 群馬ブラック魅力発信事業
4月20日 前橋中央倫理法人会・倫理経営講演会
4月21日 前橋赤十字病院落成記念式典、前橋ユネスコ50周年記念式典
4月22日 前橋渋川シティマラソン
4月24日 前橋商工会議所女性会創立60周年記念大会、前橋JC4月第一例会
4月26日 環境農林常任委員会県内調査
4月27日 高崎渋川バイパス開通記念式典、東中学校PTA歓送迎会
5月 1日 群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター訪問
5月 5日 赤城神社奉納武道大会
5月10日 ジッセン研修(金沢視察)
5月11日 新田小学校PTA歓送迎会
5月12日 金澤記念財団理事会、伊勢崎JC周年式典
5月13日 道の駅視察(保田小)
5月14日 リベラル群馬議員団会議
5月16日 アスベスト勉強会、前橋JC5月第一例会
5月17日 部落解放同盟群馬県連合定期大会
5月18日 リベラル群馬議員団会議
5月20日 東地区のびゆく子どもの集い、連合群馬ふれあいフェスティバルinまえばし
5月25日 第2回定例会開会

サポーター・ボランティア募集

みんな おいでよ!!

Akira OGAWA

1982年・農家の長女として誕生。
中央大学在学中に司法試験合格。
前橋地方裁判所で司法修習の後、群馬弁護士会へ登録。2011年・群馬県議会議員(初当選)。2015年・群馬県議会議員(現在2期目)・リベラル群馬。

お神輿(お祭り)好きの庶民派。



政治を身近に☆体験しませんか?!

Facebook & BLOG

akira-o.jp/blog/

GO!

フェイスブック
&ブログ
やってます!
ぜひ一度覗いて
みてください



桑の苗木植樹プロジェクト

投稿日: 2018年3月4日

全国の吳服関係者が着物の生産地の支援のために始めたこのプロジェクト。今年で7回目を迎えます。遠くは山口県からも参加しているチームもあってビックリ! 養蚕・製糸・加工・販売は繋がっていますが、そのうちの養蚕・製糸は群馬が最後の砦となっています。来年は群馬シルクのブランド力強化や高価値製品の開発といった新規事業を立ち上げて県でも様々な支援の方法を検討しているところです。それについても、我ながら長靴が似合う!



梨や沖縄でもレタスを作っているそうです。

元気な高齢者が多いのも村の政策の1つ。野菜の出荷場で健康診断をしたり、ヘルシーパークという施設では、デイサービスと大浴場やトレーニングルームがあり、24時間の訪問介護も行っているそうな。

近年では、移住してきた農家の“お嫁さん”が活き活きと生活できる環境づくり(結婚環境向上事業)に力を入れており、例えば、「カブリ」というアプリをダウンロードすれば、村の情報や妊娠から出産、子育てに係る手続きに関する情報が入手でき、子どもの予防接種記録などをスマートフォンで管理することができるなど、子育てがしやすい仕組みを作っています。なんといっても幼稚園や中学校、文化センターなど、村民が利用する施設がカラマツをふんだんに使った温かい雰囲気るのが素晴らしい!

6月には宇宙桜の植樹祭が執り行われます。そのころには、キラキラ光る一面のレタス畑が広がっているはず♪



レタス日本一の村

投稿日: 2018年4月12日

昨日は長野県の川上村にお邪魔しました!役場の入り口には川上村出身の宇宙飛行士、油井亀美也さんの像がお出迎え(^^) カラマツとレタスが有名な川上村は、標高1,300メートルという高地ならではの気候を活かした農業が盛んで、レタスの生産量は日本一。平均年収は2500万円とも言われています。儲かる農業で、後継者となる若者が、都会から帰って来る珍しい村。耕作放棄地もゼロ、農地が足りなくて山



小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-43-7 1F

● TEL.027-255-7700 ● FAX.027-255-7788

● URL.<http://akira-o.jp> ● Email info@akira-o.jp

